

虹色の谷から 南川つつしん

第 24 号
発行 2011.09.20
南川福祉学園
小浜市深谷 10-1-4
☎ 0770-58-0408

防災の意識を 高く掲げて

施設長 中尾範子

夏の終わりをを感じる間もなく、一足飛びにやってきた秋は入道雲を追いやり、田園風景を黄金色一色に染め上げ、夏とはまったく違った活気を漲らせている。

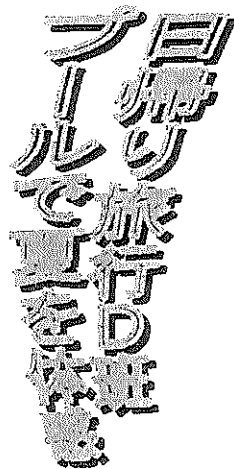
三月に東北を襲った三重災害を思うとき、今迄当たり前のように過ごしてきた季節の移り変わりを特別に感じるのは、多分私だけではないと思う。

先日、保護者の方々から学園の防災対策についての御意見をお聞きする機会があり、学園では様々な状況を想定した防災訓練を月一回の割合で実施していることや、日頃より利用者の危機管理については、機会あるごとに職員間で話し合い、意識を高めるよう努めていることをお伝えしたが、更に今回の未曾有の災害を教訓に、法人レベルでの防災対策の必要性を強く感じ、現在マニュアル作成の準備を進めているところである。

市の担当課より頂いたアドバイ

スを基に、①災害時、情報が効率的に回転するよう、対策本部を法人事務局に置くこと、②地区の避難所までのルートを決め、職員に周知徹底すること、③地域の支援を受けるに当たり、利用者の特性を的確に伝えるための個人情報カードを準備することなどを盛り込むこととした。

世界的に注目を集めた今回の被災ニュースでは、福祉施設への対策についても大きな波紋を呼んだことを受け、災害時に速やかな対応ができる体制整備や、減災のための事前対策を講じ、施設の災害適応力を高めていかなければならないと感じている。



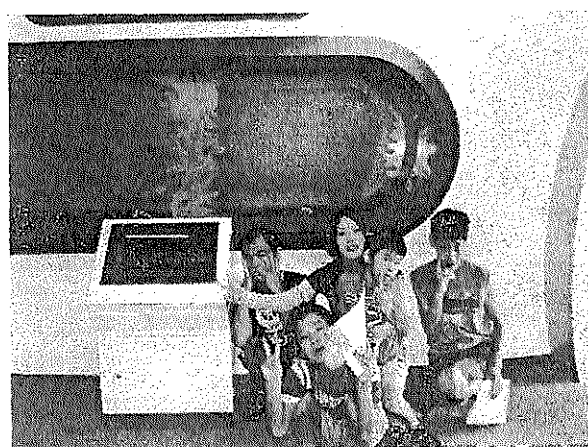
真夏の太陽がサンサンと降り注いだ八月九日……、塚本さん、藤田君、勇斗君、鈴木君の4名が越前町に日帰り旅行に行ってきました。

目的地までキラキラと輝く透き通った海を眺めながらのドライブを楽しみ、越前がにミュージアムへ。四季折々の魚が住んでいるトンネル水槽を潜り抜け、ふれあい水槽で生きたカニを近くでじっくり観察しました。

そして、次にアクティブハウス

越前へ行き、四十五メートルのウォータースライダーのあるプールへ。何度も何度も階段を登り、ウォーターライダーを楽しみました。

帰り道は少しお疲れの様子でしたが、素敵な夏の思い出となりました。(優)



越前がにミュージアムで視察研修

おへん目線9
Ogheer-City
④

濱の湯

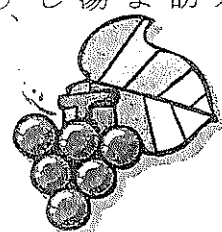
私達が住む小浜市は、海に面した地域です。毎年夏になると、多くの人が海水浴に訪れます。海水浴の後と言えばお風呂！という訳で、今回は小浜市川崎にある「濱の湯」にスポットライトを当てたいと思います。

！ここは小浜湾のすぐ側にある温

浴施設でジェットバスやサウナ、二種類の露天風呂等を楽しむことができます。また、一階にあるマリンデッキでは、雄大な小浜湾を眺めながら、無料で足湯を楽しむことができます。

学園では、園外活動などで時折訪れる機会がありますが、入浴、足湯ともに恰好の癒しのひとときとなり、人気スポットとなっています。ただ建物の構造上仕方がないのかもしれませんが、外から足湯を利用するとき、階段でしか利用できないように、残念に感じます。

そんな訳で、今後の期待度も込めて、「ぼくら目線の素敵度」☆☆☆☆ ということではいかがでしょうか。(望)



おしらせ

☆友愛会交流の集い

来る十月十五日、友愛会交流の集いを開催します。これはこれまでの文化祭を名称変更するとともに、より親しみやすい形で、利用者の交流を図ろうとのねらいをもっています。ご期待ください。

☆福井県障害者スポーツ大会

来る十月二十三日、福井市で開催される大会に、学園からは6名の選手を派遣し、陸上短距離、投擲競技に出場します。